

第10回 平成28年（2016年）熊本地震に関する
非常災害対策本部会議

平成28年4月21日 15:45
3号館4階幹部会議室

議事次第

1. 石井大臣からの報告

石井大臣

平成28年熊本地震についての国土交通省の対応状況

国土交通省の主な対応状況

(1) 住環境

■二次的避難場所の確保

- ・全旅連等に九州全域の旅館・ホテルへの被災者の受入れを要請（熊本県で1,500人程度）。全旅連は、他県の宿泊施設についても、熊本県からの要請があり次第、受入れる用意あり。
- ・保健師が各避難所を巡回して被災者から聴取した利用希望をもとに、熊本県及び全旅連熊本県支部において、高齢者、妊娠中の方、乳幼児連れの方、体調の悪い方を中心に、順次受入を開始予定。
- ・ホテルシップについては熊本県を含め関係者と引き続き調整中。

■応急的な住まいの確保等

- ・熊本県では、判定士を増員して被災建築物の応急危険度判定を実施中。
 - ・4/15約30名 → 4/18約75名 → 4/20約150名 → 4/23(予定)約600名
- ・熊本県及び熊本市では、被災者への公営住宅の提供を発表。
 - ・熊本県：70戸程度 4月21日(木)受付開始
 - ・熊本市：250戸程度 4月23日(土)受付開始
 - 入居開始予定日は、いずれも5月6日(金)
- ・URでは、367戸を確保し、提供を開始。

■飲料水等の確保

- ・海洋環境整備船等8隻、巡視船7隻および民間事業者のフェリーにより、三角港、熊本港、八代港等にて給水(飲料水)(4/21)
- ・(独)水資源機構保有の可搬式浄水装置(日量50m³:約16,000人分の飲料水を供給可能)を熊本県山都町(やまとちょう)に派遣(4/21 16時稼働予定)
- ・巡視船7隻により食料支援、入浴・トイレ提供、携帯電話の充電等、巡視船から、生活物資を熊本市へ搬送(4/21)

- ・下水処理場は機能を確保。下水管は全国各都市の応援を得て調査点検中
仮設トイレのし尿は一部処理場で受入中

(2) 物流

○幹線物流

- ・大手物流事業者の参画の下に、プッシュ型の支援物資を搬入する体制（トラックのほか、鉄道、内航海運）を確保。（JR貨物は4/19より臨時便で輸送開始）

○フィーダー物流

- ・食料については、自衛隊やトラック事業者が日本通運（鳥栖）から南阿蘇村等の市町村へ輸送。飲料水その他の品目については、自衛隊や物流事業者がヤマト運輸（福岡久山）等から、被災地の市町村まで輸送

○人的支援

- ・物流事業者の専門家を非常災害対策本部、熊本県庁等に派遣

<参考：営業用トラック輸送の手配実績（21日6時現在）>

幹線物流（プッシュ型）	： 51件
幹線物流（プル型 被災自治体から国に依頼があったもの）	： 16件
その他（熊本県・熊本市から同県トラック協会に依頼があったもの）	： 72件

(3) 交通

■道路

○新たな開通について

- ・九州道(八代(やつしろ)IC～嘉島(かしま)JCT)(33km)来週前半に一般開放。
九州南側から熊本への大動脈が回復見込み
- ・グリーンロード南阿蘇(益城町内)明日開通見込。熊本市内から南阿蘇方面への東西軸が回復し、大型車での物資輸送が可能となる予定
- ・大分道(速見(はやみ)IC～別府(べっふ)IC)(10km)本日0時一般開放。
大分県の高速道路の南北軸が回復。国道10号と高速道のダブルルート確保

○物資輸送・渋滞対策

- ・九州道植木(うえき)IC～益城熊本空港(ましきくまもとこう)IC間(19km)について、19日(火)より物資輸送車両等が通行可能
- ・国道443号の応急復旧が完了し、昨日より走行可能。九州道から益城町中心部等への支援物資の円滑な輸送や渋滞緩和に寄与

- ・広域的な対策調整の場(整備局、県、市、警察等)を設置し、以下の対策を実施中

※利用 IC の誘導による熊本市内への流入分散
 ※国道 3 号から他の道路への迂回誘導
 ※渋滞箇所における仮設トイレ等の設置

○復旧の取組について (3 路線 75km 通行止め)

【高速道路】

九州自動車道 植木(うえき)IC～八代(やつしろ)IC

(56km、うち 19km は物資輸送車両等通行可)

※緑川(みどりかわ)PA 付近 落橋した跨道橋撤去済・路面復旧中
 ※益城(ましき)バスストップ付近 土留め鋼材を打設中・その後崩落した盛土を復旧
 ※木山川(きやまがわ)渡河部 橋桁ずれ 橋梁を支えるペント設備を設置中

大分自動車道 湯布院(ゆふいん)IC～日出(ひじ)JCT (17km)

※由布岳(ゆふだけ)PA 付近 土砂撤去中 (4 車線中 2 車線ほぼ完了)・土留めを開始

【国道・県道・市町村道】(大規模被災箇所)

阿蘇大橋地区斜面崩壊(国道 57 号・国道 325 号)

※専門家の意見を聴きながら、土砂撤去用進入路の確保等のため、現地作業中

俵山トンネル(2km) 熊本県西原村 県熊本高森線(覆工コンクリート崩落)

※トンネルの復旧に対し、専門家を派遣。
 ※本日、並行する「グリーンロード南阿蘇」の土砂崩落箇所啓開作業を完了予定

■鉄道関係

○新たな開通状況(20日15時以降)

- ・JR九州 鹿児島線 熊本駅～八代駅が、21日13時過ぎに運転再開

○運転休止

- ・新幹線 九州新幹線 運休区間：博多駅～新水俣駅

※熊本駅～熊本車両基地間(本線上)回送列車1本 全車脱線 車両の撤去作業を実施中

※本日、新玉名～熊本間の復旧工事に着手

- ・在来線 3事業者5路線(運転休止)

・JR九州 3路線 ・熊本電気鉄道 一部(1路線)
 ・南阿蘇鉄道 全線(1路線)

■空港関係

- ・熊本空港：ターミナルビルは5つの搭乗口のうち3つのみ運用中。民間旅客便は19日に運航再開し、20日以降は通常の約7割の旅客便(50便程度)が運航中。また、24時間運用し救援業務に対応中で、自衛隊、米軍

機等が利用。

- ・九州の他の空港：通常どおり運用中(大分空港において早朝の運用に対応中)
福岡ー鹿児島間等に臨時便を運航

■バス、フェリー

- ・熊本空港とのアクセスバスは通常運行。九州の高速バスは運休した路線のうち、約3割が運行再開(21日8時現在)。熊本市内の主要路線バスは概ね運行再開。
- ・フェリー：国等が協力して港湾施設の応急復旧が早期に完了し、運休している、熊本-島原ルートが22日から運航再開予定。

(4) 土砂災害 21日からの雨による新たな土砂災害の報告なし

- ・重点箇所(阿蘇大橋地区、火の鳥温泉地区、高野台地区、立野川、山王谷川)
 - ・阿蘇大橋地区：専門家の助言を踏まえ、斜面对策について県と調整
 - ・山王谷川他：熊本県に早期の応急工事を助言。土砂撤去・土嚢積を実施中
- ・震度6強以上を記録した市町村を中心に、緊急度の高い危険箇所約1100箇所に対し、テックフォース(土砂災害現地調査チーム)により点検し、県及び市町村へ情報提供、助言(実施中)
- ・土砂災害による二次災害防止
ツイッター等による注意喚起、特に警戒を要する箇所を市町村長に直接助言

市町村支援等

- TEC-FORCE 413名が自治体所管施設の被災状況を調査 ※20日358名
阿蘇市、南阿蘇村等の被災箇所において上空からドローンによる調査を実施
- リエゾン 56名 ※20日47名派遣
 - ・熊本県庁9、熊本現対本部6、熊本市3、益城町3、御船町2、嘉島町3、西原村3、南阿蘇村4、菊池市1、宇土市5、大津町1、大分県庁4、阿蘇市2、高森町3、菊陽町2、甲佐町2、JR九州1、陸自2
- 照明車、対策本部車、衛星通信車等 82台
- 海洋環境整備船及び海上保安庁巡視船等 56隻・日※熊本、八代等5港

熊本地方を震源とする地震について(国土交通省関連)

4月21日14時00分現在

